

ラーニングサポーター

1. はじめに

大学における学びが多様化している現在、学生の主体性を活かした学びの創出が期待されている。本学においても、学生と教員とが授業や学習環境について語り合う機会が年に一度設けられている。しかし、年に一度の取り組みであるため、学生たちのアイデアを、スピード感をもって実現するのは難しい。もっと日常的に学生と教職員が共に学びについて意見を交わす機会はないだろうか。

昨今、教育の当事者である学生と教職員が協働しながら、教育環境ならびに授業内容を改善・向上させていく取り組みがいくつかの大学で実施されている。例えば、学生が授業や学習環境について自由に語り合う場を主催したり、学生目線でおすすめの授業を紹介したりする取り組みがある。また、学生によるシラバスの読み説き方、上級生による「学び方講座」の実施（ポートフォリオの活用、学びのロールモデルの紹介、学内施設の活用方法）、学生発案の授業の実施、などもなされているようである。

本学では、上記の活動を始めには至っていないが、パイロット的な試みとして、4月に新入生向けに学び方講座を実施した。以下ではその実施結果を報告する。

2. ラーニングサポーター（仮）の組織

2021年度に「授業に関する学生・教員交流会」に参加した学生を対象に、新入生向けの学び方講座を実施する計画があることを伝えた。そこで2022年3月に、企画に関心を持ってくれた学生を集め、Zoomで会議を開いた。参加者は3年生、4年生合わせて4名であった。なお、学生による学生のための学習環境の改善に関わる組織を「学生FD」と称する大学もあるが、本学では「ラーニングサポーター」と名付け、とりあえずの活動を始めることにした。

3. ラーニングサポーターによる新入生向けの講座

(1) 開催の記録

イベントタイトル：

ラーニングサポーター（仮）がお悩み解決！充実した学生生活を送るために今できること
—学び・課外活動・友人関係の不安を解消します！—

対象：新入生

目的：大学生活をスタートさせるにあたって知っておくとよいことを、学生ならではの視点で先輩が伝える

日時：2022年4月9日 16:30~18:00

方法：Zoom

参加者：50名

(2) プログラム

表1 当日のプログラム

	内容
1	ラーニングサポーターメンバーの自己紹介
2	ラーニングサポーター（仮）ってどういうもの？
3	大学生が教える大学生のためのメールの書き方
4	授業の受け方
5	授業で大活躍な便利グッズ&大学での必須アイテム
6	スケジュールの管理方法
7	みんなのお悩み解決コーナー

プログラムは上記の通りである。コロナ禍において、学生は教職員とメールでやりとりをすることが多くなったが、実は、上級生になってもその作法を身につけていない学生は少なくない。そこで、プログラムの中に「メールの書き方」を盛り込んだ。また、授業の受け方、便利グッズ&必須アイテム、スケジュールの管理方法の紹介は、学生が主催だからこその内容であるといえる。

「お悩み解決コーナー」は、事前に新生にフォームで悩み事を募り、当日に先輩メンバーが回答する形式をとった。

(3) 当日の資料

当日は、パワーポイントを画面共有しながら、学生が新生に上記の内容をレクチャーした。一部資料を掲載する。


【大学生が教える大学生のためのメールの書き方】

メールを整理してみよう

・授業に関することや学生生活に関する事など様々な連絡が来ます！

返信しなければ
ならないメールが
見つからない

授業に必要な
Zoomの情報が
みつからない




必要なメールが
見つからない


メールが
たくさん来て、
何が何だか
わからない


6

まとめ

- ・メールを出すときに気を付けること


 **形式**
みやすいかな？ 読みやすいかな？

 **内容**
概要から詳細の流れはできているかな？
メールの用件（目的）は伝わっているかな？

 **配慮（コミュニケーション）**
相手はどう思う？
私は今後どうしたら円満な関係を築ける？

32

【授業の受け方】

①-2 授業スタイルの違い 

～「違い」の具体例～

- ◆先生が印刷を…？
 - する：授業中に配られる
→用意しておく必要なし
 - しない：授業前に予めデータが配布される
→各自、自宅などで印刷しておく必要あり
- ◆成績の付け方
 - ・テスト →今まで扱った授業資料は持ち込み可？ 不可？
 - ・レポート
- ◆ノートテイクの方法
 - 電子機器(スマホ・パソコンなど)を使用する場合は、先生に事前に相談しておこう


35

④-1 リアクションペーパーの書き方

リアクションペーパーとは？

→出席確認の一環として行われるものです。
その日の授業を通して
学んだこと・気づいたことを
まとめましょう。

「リアクションペーパー」は、通称「リアペ」とも呼ぶよ！先生によって、異なる呼び方の場合があるので注意！

 38

4. 参加者アンケートから

20 名の新入生よりアンケートの回答があった。以下、結果を記載する。

(1) 有意義であったか

「とても有意義」と回答した新入生が 18 人 (90.0%)、「まあまあ有意義」と回答した新入生が 2 人 (10.0%) であった。企画実施にあたっての準備は短期間であったものの、先輩メンバーのポテンシャルが高く、また学内外で活躍している学生のレクチャーであったため、本企画は新入生にとって意義ある時間となったようである。

(2) 本日のイベントでよかったもの (複数回答可)

結果は以下の通りである。

表 2 イベントでよかったもの

メールの送り方 (注意点を含む) & 書き方講座	16 人	80%
授業の受け方講座	18 人	90%
授業にお役立ちの持ち物・大学生必須アイテム	17 人	85%
スケジュール管理	12 人	60%
お悩み相談コーナー	14 人	70%

いずれのコーナーも新入生にとって好評であった。特に授業の受け方については、実践的なものであり、さらには、高校までとの違いに不安を抱いていた学生が多かったからか、多くの新入生から高く評価された。

(3) (2) でそのように答えた理由

授業前で不安に思っていたことを解消できた、という声が多く挙がった。例えば、シラバスに「リアクションペーパーを評価する」という記述があったようで、その対策ができた、と安堵する声や、メールの正しい送り方を知ることができてよかった、などの声があった。また、持ち物やお役立ちグッズなど、大学生ならではの視点での企画も好評であった。

(4) 学生の感想

自由記述で参加者に感想を求めた。ここでは2名の学生の声を挙げる。

わかりやすく、また必要最低限のものを知ることができたので購入を検討したいと思いました。質問にも丁寧に答えてくれたのも良かったです。スライドもイラストなど使われていてわかりやすく良かったです。大学生活不安しかありませんが、なんとか過ごしていきたいと思いました。イベントの開催ありがとうございました!!!

本日はこのような講座を開いて下さり、本当にありがとうございました。不安でいっぱいだった大学生活がとても楽しそうだなと思うことができました。また、色々な行事に積極的に参加し、自分のスキルアップを目指していきたいなと思うこともできました。本日は本当にありがとうございました。

以上の学生の声から、本イベントが実践的な内容であり、わかりやすいものであったことがうかがえる。また、単に大学生活で必要なスキルを学ぶだけではなく、ロールモデルとなる先輩に触れることで、これから始まる学生生活に意欲的となることができたようである。

5. 今後の展開について

新入生向け企画に限らず、学生自身が相互に学び合うことが日常的になるよう、まずは組織作りに着手したい。そして、学生自らが学びを創る当事者であるという意識を本学においても醸成したいと考える。

そのためには、学生たちの「やってみたい」という意欲を汲みながら、取り組みやすい内容から実施をしていくことが大切となるだろう。ラーニングサポーターの活動から、ロールモデルとなる学生が現れ、活動が自走していくことが理想である。また、教職員のFDに資する取り組みとして、いずれは、授業アンケートの分析にも関わることができるよう、学生と教職員とがFDについて共に学び合う機会を設けたい。

以上